

タコブネ



- 1 種名 頭足綱 八腕形目 カイダコ科 タコブネ *Argonauta hians* (Lightfoot, 1786)
- 2 測定結果 殻部 : 殻長 35.44 mm、殻幅 22.19 mm、重量 1.0g
軟体部 : 全長 92.72 mm、外套長 32.09 mm、重量 5.6g
- 3 採集日 平成 30 年 11 月 30 日
- 4 採集場所 大島南部海岸
- 5 採集方法 たもすくい
- 6 採集者 岡本 公秀 氏

本種はメスのみが貝殻を作り、この内部で卵を孵化まで保育する。メスの第一腕は膜状に広がっており、ここから貝殻を分泌する。オスは矮小でメスの 1/20 くらいの大きさとなる。オスの左第三腕は交接腕で長く伸び、交接の際にメスの外套膜内で切り離される。オスの採集例は少なく、メスに残留した交接腕片のみが度々見つかる。表層で浮遊生活をしており、広く世界の熱帯・亜熱帯の海洋に分布する。日本では太平洋、日本海の暖海域で見つかっている。本科には本種の他にアオイガイ、チヂミタコブネの 2 種が知られている。

参考文献：軟体動物学概説（上巻）波部忠重ら編 サイエンティスト社出版
日本近海産貝類図鑑 奥谷敏明編 東海大学出版
新日本動物図鑑 岡田要編 北隆館出版